

P-9 高橋直也・遠田晋次

高密度ボーリングデータから推定される長町-利府線断層帯の活構造分布

<選定理由>

本研究は、長町-利府断層の活構造を大量のボーリングデータで地下の地質情報を整理し、2mDEMの地形情報を用いて、地質と地形の両面から明らかにしようとする研究であった。図が丁寧にわかりやすく作られており、QRコードを取り入れるなど、随所に工夫がなされていて、質疑応答も真摯に対応していた。

地表変形形状（撓曲）と短い副断層の検出はできていたものの、個々の変位の源となる断層の運動像や主断層との関係論が今後の課題として残っているが、明快な発表であった点が評価された。